

# むささび

第28号

平成28年5月31日発行

JForest 北信州森林組合  
〒383-0061 中野市大字壁田938-1  
TEL:0269-38-0371 FAX:0269-23-5350  
URL <http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>  
E-mail [musasabi@jforest-kitashinshu.or.jp](mailto:musasabi@jforest-kitashinshu.or.jp)



本所で育てている苗木(苗木のホームステイ)

飯山市菜の花公園・第67回全国植樹祭県民植樹が5月21日に行われました。



森林組合PR事業を全県で行っています。

SBC ラジオでJフォレストCMを放送します。



主な内容

- 第15回通常総代会開催 …… 2
- 平成27年度事業・決算関係 …… 3
- 平成28年度事業計画 …… 4
- 長野県ふるさとの森林づくり賞 … 5
- 消防庁消防団協力事業所認定 … 6
- ねんりんこどもまつり他 …… 6
- 地域の山林紹介⑥ …… 7
- 笹の葉買取 …… 8
- 竹の子採取券の前売り券販売 … 8

# 第15回通常総代会を開催しました。



平成28年4月23日(土)に飯山市文化交流館「なちゅら」において第15回通常総代会を開催しました。

総代総数200名のうち本人出席92人、書面出席84人、合計176人の出席で、総代会議長に飯山地区選出総代の金崎和昭さんを選出して議事が行われ、上程された9議案全て原案どおり承認・決定されました。

第9号議案では、新たな系統運動が決定され、平成32年度末の目標達成に向けて取組みを進めています。

## 損益計算書

(単位 千円)

事業総利益		
収益	364,939	
費用	<u>269,824</u>	
事業総利益		95,115
事業管理費		
人件費	71,466	
旅費交通費	964	
事務費	3,410	
業務費	3,609	
諸税負担金	3,448	
施設費	35,957	
雑費	<u>987</u>	
事業管理費計		119,841
事業利益		-24,726
事業外損益		1,891
経常利益		-22,835
特別損益		966
税引前当期利益		-21,869
法人税・住民税		-703
当期剰余金		-22,572
前期繰越剰余金		18,968
当期末処分剰余金		<u>-3,604</u>

※千円以下については四捨五入ですが、合計を合わせるために切捨、切上してあります。

## 平成27年度 損失金処理案

(単位 千円)

I 当期末処理損失金	-3,604
II 法定準備金戻入	585
III 損失金処理額	-3,019
1.任意積立金取崩額 (損失補填積立金)	3,019
IV 次期繰越剰余金	<u>0</u>

平成27年度は春先の積雪の影響や保育事業の減少、利用事業の不振など厳しい経営状況の中、職員と技能職員の賞与を削減するなどし、経営の安定に取り組んできました。しかし、予期しなかった寡雪によって、収益が大きく減少し、最終的には税引前で21,870千円の当期損失となってしまいました。

このような状況の1年でしたが、系統運動の森林組合活動21世紀ビジョン・3rdステージの最終年度であり、3月には作業システム構成で高性能林業機械15台の配備が完了し、林産事業(間伐)で目標の21,000㎡に対し20,780㎡、低コスト林業の確立では、生産コスト(間伐)で目標の6㎡/人・日を達成するなど、当組合の系統運動は目標を概ね達成することができました。

損失金処理としては、前期繰越剰余金が18,968千円ありますので、平成27年度未処理損失金は3,604千円となります。

そして法定準備金が満額(出資金の2倍)となっていることから、脱退による出資金減少額の倍にあたる額の585千円が戻入となり、損失金処理額は3,019千円となります。

これを、任意積立金(損失補填積立金)280,000千円の中から同額を処理し、次期繰越剰余金は0円となります。

**平成18年度以来の損失金処理を行います。**

# 来年4月1日に組合員事務を本所に統合

## ねんりん運営は当年度営業を以って村に返還

山ノ内町よませ活性化センター内にある山ノ内支所、木島平村役場内にある木島平支所、野沢温泉村役場内にある野沢温泉支所と飯山支所（利用事業室と併設）について、平成29年3月31日を以って各1名いる事務員をなくし、4月1日から組合員事務を本所に統合することとし、野沢温泉村虫生にある物産センター「ねんりん」について、当年度の営業を以って村に返還することを理事会で決定し、組合長から総代にその旨が伝えられました。

### 組合長挨拶要旨

昨年は大北森林組合の補助金不正受給が発覚し、大きく報道され組合員の皆様にはご心配やご迷惑をおかけし、申し訳なく思っております。当組合はこのようなことはありません。役員一同ガバナンスとコンプライアンス体制の構築等責任を明確にし、不祥事がないよう努めてまいります。

次に支所の統合問題であります。長年支所でも対応してきましたが、今はほとんどの仕事の本所に集中しており、29年4月1日をもって、支所を本所に統合することにご理解をいただきたい。また、ねんりんにおきましても組合で運営を委託しておりましたが、諸般の事情から、今後は村でやって頂くことに致しました。

27年度事業につきましては搬出間伐におきまして路網の整備やオペレーターの技術アップ等により生産性が上がりました。また、高性能林業機械等の多額な固定資産を取得しましたが、今後の森林整備等の事業効率を上げるための投資であり、28年には成果を出したいと考えています。

森林情報解析システムにおいては、自分の山がわからない、境界がわからないなどの問題に対応でき、また、航空計測データ等先進的なデジタル技術の導入により、効率的な素材生産の管理ができるようになりました。このような一連の功績により、昨年は長野県ふるさと森林づくり大賞を受賞しました。皆さんのご指導の賜物と感謝を申し上げます。

次に今年の決算ですが、当期末処分剰余金は欠損金になりマイナス360万円余となりました。なお、28年度事業計画については、境界明確化・間伐を主力にし、受託事業・販売事業等を推進してまいります。職員の労働安全衛生・ストレスチェックについても、安心・安全の職場として取り組んでいきたいと思っております。また、本年の6月5日は長野市で52年ぶりに天皇・皇后陛下をお迎えし、全国植樹祭が開催されます。前日にはこの会場で林業後継者大会が行われます。また、5月21日は県民植樹祭が飯山市菜の花公園で開催されるので、大勢の方の参加を願います。また、5月21日は県民植樹祭が飯山市菜の花公園で開催されるので、大勢の方の参加を願います。また、5月21日は県民植樹祭が飯山市菜の花公園で開催されるので、大勢の方の参加を願います。また、5月21日は県民植樹祭が飯山市菜の花公園で開催されるので、大勢の方の参加を願います。

### 部門別損益

平成28年2月29日現在

部門	金額	備考
指導部門	5,626	課金、実費収入
販売部門	37,032	販売品・林産品売上、手数料 物産センター運営収入 他
森林整備	153,129	森林整備費、森林植栽費、山 工事費 他
利用	160,867	課金収入、利用料、利用事業収 入、委託利用事業収入 他
福利厚生	1,474	福利厚生費
購買	6,791	事業物資売上 生活物資売上
金融	20	事業資金貸付利息 林業の融資金取戻手数料
合計	364,932	

部門	金額	備考
指導部門	11,990	総代経費、広報宣伝費、 委託人件費 他
販売部門	29,188	販売品・林産品原価 物産センター運営費 他
森林整備	105,909	森林整備費、森林植栽費、山 工事費 他
利用	117,343	課金費、利用施設維持費、利用 事業費、委託利用事業費 他
福利厚生	188	福利厚生費
購買	5,199	事業物資売上原価 生活物資売上原価
金融	7	事業資金借入利息
合計	269,824	

委託販売取扱高	5,010千円
委託林産取扱高	118,637千円
委託森林整備取扱高	119,707千円

### 貸借対照表

平成28年2月29日現在 (単位 千円)

科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
資産の部				負債の部		純資産の部	
流動資産		流動負債		出資金			
現金	924	建物付属設備	283	委託販売預り金	75,612	払込済出資金	92,319
預金	389,445	一括償却資産	0	賞借金	204	剰余金	
売掛金	2,651	土地	34,630	未払金	25,581	法定準備金	185,224
未収金	80,262	森林	0	未払法人税等	703	資本準備金	603
短期貸付金	2,000	有形固定資産合計	114,425	短期借入金	2,000	任意積立金	290,000
立替金	61,080	無形固定資産		前受金	1,922	当期未処分剰余金	▲22,572
預託金	238	水利権	316	貸倒引当金	531	前期繰越剰余金	18,968
差入保証金	500	ソフトウェア	36,460	預り金	21,976	流動負債合計	128,562
仮払金	234	無形固定資産合計	36,776	前渡金	33	剰余金合計	472,223
前渡金	0	貸倒引当金	0	流動負債合計	128,562	純資産合計	564,542
貸倒引当金	0	有価証券	0	たな卸資産	5,183	外部出資	10,250
たな卸資産	5,183	外部出資	10,250	系統出資金	1,135	農林漁業資金借入金	0
その他	535	系統出資金	1,135	退職給付引当金	15,453	役員退任給付引当金	458
流動資産合計	543,052	外部出資合計	11,385	固定負債合計	15,911	負債合計	144,473
固定資産		固定資産合計	162,586	固定負債合計	15,911	負債・純資産合計	709,015
有形固定資産		建物	43,339	構築物	6,431	繰延資産合計	3,377
建物	43,339	構築物	6,431	繰延資産合計	3,377	機械装置	29,118
構築物	6,431	繰延資産合計	3,377	機械装置	29,118	車輛運搬具	0
機械装置	29,118	負債合計	144,473	車輛運搬具	0	工具備品	624
車輛運搬具	0	負債・純資産合計	709,015	工具備品	624	資産合計	709,015
工具備品	624	負債・純資産合計	709,015	負債・純資産合計	709,015		



**平成27年度受託林産事業素材生産量第1位**

**団体の部**

犬飼福島森林保護組合 様 出材量1,254m<sup>3</sup>

**個人の部**

中野市 田川一二 様 出材量1,910m<sup>3</sup>

**平成27年度木材生産量20,780m<sup>3</sup>**  
 ……初めて年間20,000m<sup>3</sup>を超える……

昨年3月に高性能林業機械の配備が完了したことで、現場の生産性向上により民有林の受託林産では16,569m<sup>3</sup>を生産することができました。これに国有林の生産請負で4,211m<sup>3</sup>を生産し、民有林と合わせると年間の木材生産量は20,780m<sup>3</sup>となりました。合併当初の生産量の10倍となっています。

総代会では、平成27年度の受託林産事業において、素材生産の取扱量が特に優れていた、団体および個人の表彰を行っており、左表の2名の方に感謝状と金一封が贈られました。

また、職員へは、全国森林組合連合会の永年勤続表彰の伝達が行われ、造林班の笹岡義博さんに表彰状と記念品が贈られました。

**平成28年度損益計画**

(単位 千円)

事業総利益			
収 益	368,185		
費 用	239,787		
事業総利益		128,398	
事業管理費	125,660		
事業利益		2,738	
事業外損益	-400		
経常利益		2,338	
特別損益	0		
税引前当期純利益		2,338	
法人税・住民税	-703		
当期剰余金		1,635	
前期繰越剰余金		0	
当期末処分剰余金		1,635	

**平成28年度事業計画**  
 新系統運動が始まります。

平成28年度は新たな系統運動「J forest 森林・林業・山村未来創造運動」次代へ森を活かして地域を創る」が始まります。前系統運動では目標を概ね達成しておりますので、新系統運動においても、これまでの取組みを継続し、更なる向上を目指してまいります。次期系統運動および組合中期計画では、更なる木材生産量増産と生産コスト削減をめざし、技術力向上と技能向上を図ってまいります。施業集約化を進めるとともに、森林GISの境界明確化データと航空レーザー計測データを活用し、より精度の高い事業計画と木材生産計画を作成し、安定した経営を図ってまいります。

**平成28年度部門別損益計画**

収 益			費 用		
(単位 千円)			(単位 千円)		
部 門	金 額	備 考	部 門	金 額	備 考
指 導 部 門	5,400	賦課金、実費収入 他	指 導 部 門	10,600	総代会経費、支所人件費、広報発行費 他
販 売 部 門	39,730	林産立木売上 物産センター運営収入 他	販 売 部 門	29,210	林産立木購入費、 物産センター運営経費 他
森 林 整 備 部 門			森 林 整 備 部 門		
森 林 整 備	104,500	森林整備収入、森林請負収入、 治山工事収入 他	森 林 整 備	65,750	森林整備費、森林請負費、治山 工事費 他
利 用	210,050	調査収入、利用料、利用事業収 入、受託利用事業収入 他	利 用	128,700	調査費、利用施設維持費、利用 事業費、受託利用事業費 他
福 利 厚 生	1,474	寄附収入 共済保険手数料	福 利 厚 生	200	施設管理費
購 買	7,010	事業物産売上 生活物産売上	購 買	5,320	事業物産売上原価 生活物産売上原価
金 融	21	事業資金貸付利息 林業改善資金取扱手数料	金 融	7	事業資金借入利息
合 計	368,185		合 計	239,787	

受託販売取扱高	5,000
受託林産取扱高	150,000
受託森林整備取扱高	150,000

平成28年度の取扱計画は、収益3億6819万円、受託販売500万円、受託林産1億5000万円、受託森林整備1億5000万円で合計6億7300万円程を計画しています。なお、境界明確化事業は順次計画に沿って進めております。組合全域をカバーする事が最終目標ですが、全域を行うには20年程度かかる見込みです。計画では整備の必要な人工林地域を優先して実施しております。



# 平成27年度長野県ふるさとの森林づくり大賞受賞



中山組合長が受賞者を代表して謝辞

平成27年度の長野県ふるさとの森林づくり賞で大賞が決定しました。1月15日に県庁講堂で表彰式があり、中島恵理副知事から表彰されました。

この賞は、平成17年にいくつかあった林業関係の賞を一つにまとめる形で創設されたもので、社会全体の共通の財産である森林を健全な姿で次の世代に引き継いでいくことを目指し、県民の主体的な参加の下で森林づくりを進めるため制定された「長野県ふるさとの森林づくり条例」の基本理念に基づき、森林・林業の健全な発展に資するため、その振興に貢献のあった者に賞を贈り、その功績を称えるものです。

## 県下の森林組合で初の受賞

本賞は田中康夫知事時代に創られたもので、これまで県下各地の個人や林業関係団体が表彰されてきました。

森林組合で森林整備を行うのは、業としてあたり前のことであり、森林組合が賞の対象となることはありませんでした。そうした中で、当組合の先進的な取組みが評価され、森林組合として初めての受賞となりました。

### 森林組合活動21世紀ビジョン・3rdステージ 『国産材の利用拡大と森林・林業再生運動』

年度別実施計画

運動期間：平成23年4月～平成28年3月

	現状(実績) (平成23年度)	目標 (平成24年度)	目標 (平成25年度)	目標 (平成26年度)	目標 (平成27年度)	実績 (平成27年度末)	見通し (平成32年度)
<b>1. 国産材の安定供給と流通改革</b>							
・林産事業 (主伐) (㎡)	92 ㎡				4,000 ㎡	0 ㎡	15,000 ㎡
(間伐) (㎡)	13,605 ㎡	14,500 ㎡	18,050 ㎡	20,400 ㎡	21,000 ㎡	20,780 ㎡	15,000 ㎡
・販売量 (㎡)							
・林産・販売事業のうち連合会への出荷 (㎡)	3,349 ㎡	7,000 ㎡	10,000 ㎡	13,000 ㎡	15,000 ㎡	14,188 ㎡	15,000 ㎡
<b>2. 提案型集約化施策と低コスト林業の確立</b>							
① 提案型集約化施策の取組み							
・森林施策プランナー設置数(人)	6名	10名	10名	12名	12名	10名	15名
・森林経営計画の樹立面積	540ha	1,050ha	2,300ha	3,650ha	5,000ha	3,152ha	13,500ha
・森林GISシステム(導入数・キー数)	1セット・4個				1セット・6個	1セット・6個	1セット・8個
・GPS受信機	3台				6台	4台	8台
・デジタル方位距離計	5台				10台	5台	12台
・携帯端末(モバイル端末)	7台				25台	10台	30台
② 低コスト林業の確立							
・生産性 主伐(㎡/人・日)					8 ㎡/人・日	㎡/人・日	9 ㎡/人・日
間伐(㎡/人・日)	3 ㎡/人・日	5.3 ㎡/人・日	5.82 ㎡/人・日	5.83 ㎡/人・日	6 ㎡/人・日	6 ㎡/人・日	7 ㎡/人・日
・生産コスト 主伐(円/㎡)					7,500円/㎡	円/㎡	6,000円/㎡
間伐(円/㎡)	11,000円/㎡	10,500円/㎡	10,000円/㎡	8,500円/㎡	8,000円/㎡	10,000円/㎡	7,000円/㎡
・作業システムの構成 (高性能林業機械・従事者数) *複数年リース含む	7台・12人	9台・16人	12台・16人	15台・20人	15台・20人	15台・19人	18台・24人
<b>3. 組合員、地域の信頼を得る組織・経営の確立</b>							
① 組織・経営体制の強化							
・代表理事の常勤化				1人	1人	1人	1人
・職員理事登用数							
・女性理事登用数							1人
・専門家監事登用数							
② 認定・資格取得							
・森林組合監査士					1人	1人	1人

森林組合活動21世紀ビジョン・3rdステージ  
間伐生産量・間伐生産性を達成しました。

# 消防庁から消防団協力事業所に認定

2月2日付で消防庁の消防団協力事業所に認定されました。この表示証と表示証交付書の交付式が3月23日、岳南広域消防本部で行われました。

交付式では岳南広域消防組合の組合長である池田中野市長から、中山組合長に消防庁の消防団協力事業所表示証と表示証交付書が交付されました。

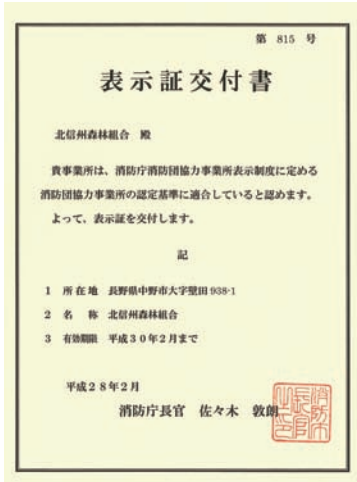
当組合には昨年度末で中野市2名、飯山市7名、木島平村4名、野沢温泉村1名の団員が在籍しています。組合の特別休暇制度には、「天災地変等により消防団員として出勤を要請された場合」が規定されており、火災等有事に対しても特別休暇を活用できるように、消防団活動に協力しています。

昨年も飯山市3件、木島平村1件、野沢温泉村1件の特別休暇制度を活用しての出動がありました。

山村地域に根差した森林組合として、これからも地域に貢献してまいります。



伊東消防長(当時) 中山組合長 池田市長 神田中野市消防団長



## イベント予定

### 山菜まつり

6月19日

\*朝採りタケノコ有り

### 夏まつり

8月14・15日

\*やきとり、焼きモロコシ等

### 秋の収穫祭

10月23日

\*なめこ汁、季節農林産物等

### ねんりん感謝祭

11月20日

\*野沢温泉産野沢菜販売ほか



## 村の駅ねんりんて「こどもまつり」

今年も多くの方で賑わいました。

5月3日、4日、5日の3日間、野沢温泉村の村の駅「ねんりん」で恒例の子供祭りが開催されました。

3日間多くの皆様に来ていただき、たいへんありがとうございました。今年の冬は異常豪雪で、毎年好評の雪山でのソリ遊びが残念ながらできませんでした。

山菜については、暖かな気候が続く、例年よりも早く出ているようで、種類も多く出され、たいへんにぎわっていました。

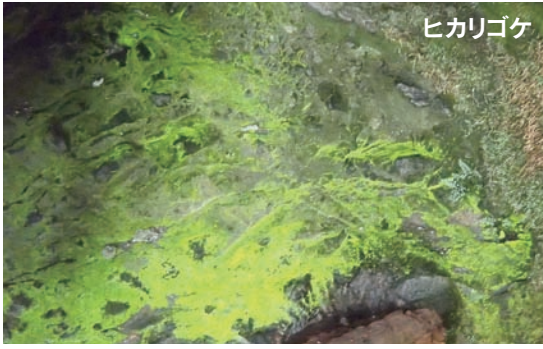
今年も季節に合わせてイベントを計画していますので、多くの皆様のお越しをお待ちしております。

地域山林の紹介⑥

倭財産区(中野市)

歴史

倭財産区は、元は旧倭村田上・柳沢の2集落共有の新成林で、大正9年倭村に統合の後、昭和29年の市町村合併による中野市発足時に設立されました。財産管理者を中野市長とし財産区管理会を設置して地元の意思を反映させながら倭財産区特別会計により運営しています。その財産は高社山山頂の北西に広がる163ヘクタールの山林で権利集落は田上・柳沢・岩井・岩井東の各区です。林内に高社山登山ルートの1つがあり、ルート沿いにはヒカリゴケが生するなど、豊かな自然も残されています。

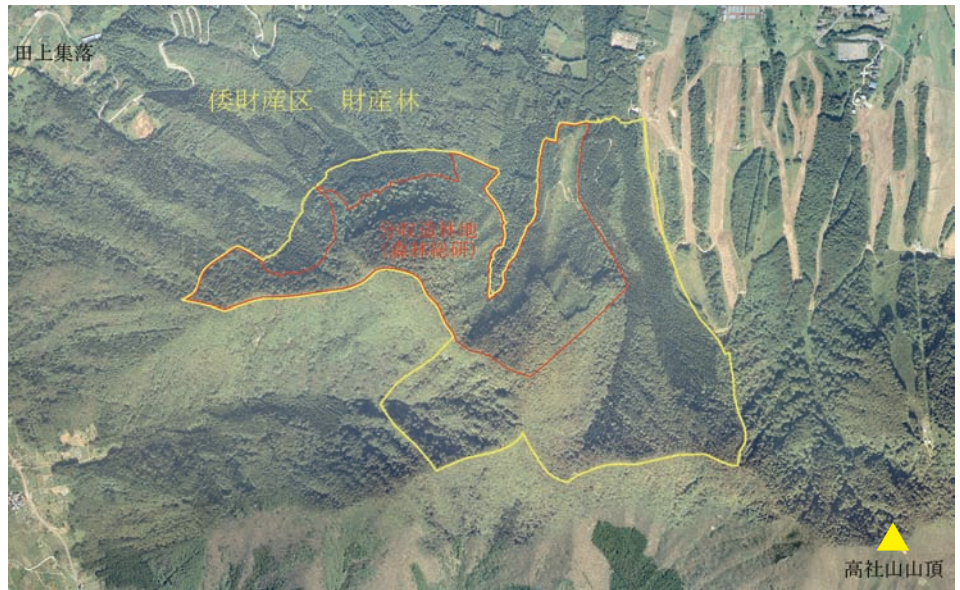


ヒカリゴケ



倭ルート・赤岩ルート合流点  
胴結場

過去には財産区の木材を販売して得た利益により、倭小学校のプール建設費用や倭地区の消防車配備費用を拠出しました。現在は4割強が人工林、5割弱が天然林、その他1割弱で、人工林はほぼ全てスギになっており、財産区単独で所有するものや、市行造林・森林総研との分取造林があります。



高社山山頂

施業

平成25年度より田上地区の山林について、森林経営計画を樹立、集約化施業を進めています。平成27年度に倭財産区のスギ林の利用間伐を実施、急峻な地形ながら利益を確保し、精算金を支払うことができました。作業道を開設して高性能林業機械を用いることで、利益が見込めるようになっていきます。今後も継続して田上地区の森林整備を実施する予定です。



利用間伐後の倭財産区有林

## 笹の葉の買取りについて

### 組合で買取ります。

昨年から、長野市にある小林多男商店と笹の葉の取引を行っています。

昨年は飯山支所で2名の方から出荷があり、3万2千枚を取扱っています。

今年も引き続き買取りを行いますので、組合員の中で笹の葉を採取していただける方は支所・本所に連絡してください。

出荷の仕方は、6月から7月にかけて、新葉だけを摘んで50枚を一束として輪ゴムで束ねて出荷していただきます。

常温では日持ちしませんので、その日のうちに飯山支所に持ち込んでいただくこととなります。なお、その際に状態確認をさせていただきます。

買取価格は1枚2円(昨年と同額)です。**希望される方は、ぜひ組合に連絡してください。**



## カヤの平国有林の「竹の子採取券」の販売について

中野・飯山・山ノ内の組合員向けに期日指定前売り券を販売します。

### 当日券2500円、前売り券2000円

カヤの平国有林の竹の子採取が5月28日から始まりました。当組合では「竹の子採取券」期日指定券(当日券)の前売り券を中野市、飯山市、山ノ内町の組合員を対象に販売します。

当日券2500円を前売り券2000円で販売します。販売時に採収日を記入した券をお渡ししますが、採収日が荒天等で採収ができない場合でも返金はできませんので、天気予報等を見て採収日を確定の上で、ご購入ください。

販売は本所・支所で平日の午前9時から午後5時までです。

森林組合での「竹の子採取券」の販売は、旧木島平村森林組合と野沢温泉村森林組合で行っていたもので、地元の有林での採収権を森林管理署から組合が買い受けて、組合員と地元住民に手数料をいただいで、シーズン採収ができるようにしているものです。これは地元の方の古くからの入会権的な権利を尊重して行っているもので、合併後も引き続き行っています。

### 【豆知識】 民有地と国有地

明治政府は、1873年(明治6年)の地租改正により全ての民有地に地租を賦課するため、全国の土地について実地調査を行いました。

これは、土地課税を年貢制から地租制(税制)に変えるため、課税対象となる民有地を確定するために行ったものです。

1874年(明治7年)には太政官布告「改正地所名称区別」により、民有地と官有地(国有地)を明確にし、地租の対象となる民有地の所有者を確定しました。

この時、山林にあつては経済的に利用されているかが判断基準にされました。竹を採取して竹細工を作って商いをしていたなどの理由で民有地となった山林もあれば、山菜を採取して自家用として消費しているだけの山林は国有地となっていました。

現在、カヤの平は国有林となっていますが、地元の皆さんにとっては、古くから山菜を採取していた山林であり、そうした権利を有しているという思いがあります。

### 編集後記

今年も年3回の発行を計画しております。昨年から某森林組合が世間を騒がせていますが、当組合では組合の見える化に努めており、広報紙とホームページにより、透明性のある発信をしております。

また、ローカル紙などにも情報提供をして、多くの皆様に組合情報を発信しております。

今年もより良い広報誌としてまいりますので、よろしく願いいたします。

本所	〒383-0061 中野市大字壁田938番地1 TEL 0269-38-0371(代) FAX 0269-23-5350
利用事業室・飯山支所	〒389-2255 飯山市大字静岡383番地14 TEL 0269-62-8111 FAX 0269-62-8111
山ノ内支所	〒381-0405 山ノ内町大字夜間瀬6819-1 TEL 0269-33-8665 FAX 0269-33-8678
木島平支所	〒389-2302 木島平村大字往郷973-1 TEL 0269-82-3123 FAX 0269-82-3123
野沢温泉支所	〒389-2592 野沢温泉村大字豊郷9817 TEL 0269-67-0454 FAX 0269-85-3803
ねんりん	〒389-2613 野沢温泉村大字虫生2383-1 TEL 0269-85-4441 FAX 0269-85-4441
直売所(冬季間休業中)	TEL 0269-85-4141 FAX 0269-85-4141